



すごいぞ！柏プロジェクト



2022年3月11日 第22号

かぶ、ほうれん草 いくらで売るか

出店準備の中で、子どもたちは「かぶとほうれん草をそれぞれいくつつ、いくらで売るか」を決めることにしました。しかし、子どもたちはかぶやほうれん草が一般的に1袋にいくつつ売られているのか、相場はいくらぐらいなのか知りません。そこで、お家の人に聞いたり、買い物の際に、スーパーの売り場を調べたりして情報を集めることにしました。

子どもたちが持ち寄った情報をすべて書き出して見ると、かぶは、およそ2〜3こで150円程度、ほうれん草は1袋に8株程度で150円〜200円で売られていることが多いことがわかりました。この値段をベースにして考え、自分たちの商品の価格はどうすべきか、各クラスで話し合いました。

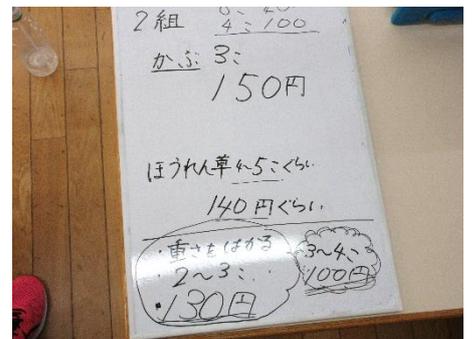
すると、**1袋の個数**については、ある子から「たくさんの方に買ってほしいけど、数がたくさんあるわけではないから、1家族1つまでにした方がよい」という意見が出ました。また、ある子は、「1袋にあまりたくさん入れてしまうと、これも商品の個数が減ってしまうから、小分けにして売った方がよい」というアイデアを出しました。また、個数については、かぶ1つ1つの重さがそれぞれ異なることから、**算数**で学習した**はかり**を使って「重さ」をはかり、1袋の重さを大体そろえていけばよいという考えも出ました。

また、**価格の設定**については、さまざまな考えが出ました。

相場より価格を下げた方がよい	相場より価格を上げた方がよい
<ul style="list-style-type: none"> • みんなが買ってくれるか心配だから。 • プロの方の野菜ほど出来がいいわけではないから。 • 地域のたくさんの人に広まるようにしたいから。 	<ul style="list-style-type: none"> • この日1日限定のお店で、学校で作った特別なものだから。 • 個数に限りがあるものだから。 • 無農薬で毎日お世話をして1つ1つ大切に育てた野菜だから。 • 場所代、材料代をはらわないといけないから。

また、この他にも、「**中途半端な価格にしてしまうとおつりを渡すのが大変になるから、□□0円**」という切りのいい価格にした方がいい」という考えも出ました。（子どもたちは、レジのおつり対策として、今お家から小銭をたくさん集めてきています。）

これらの意見をもとに、学年総合実行委員会を開き、価格について実行委員が話し合いました。



実行委員の話し合いの結果、1袋の個数は、かぶ2〜3個、ほうれん草は3〜4株とし、重さをはかって調整することに決まりました。また、価格は**かぶ1袋130円**、**ほうれん草1袋100円**と、少しだけ相場よりも低い価格にすることに決定しました。この設定がどのように結果を生み出すか、当日の販売活動後に、ふりかえりをしたいと思います。